



秩父神社のご創建は、平安初期の典籍『先代旧事紀一國造本紀一』によれば、第十代崇神天皇の御代に知知夫国の初代国造に任命された八意思兼命の十世の子孫である知知夫彦命が、祖神をお祀りしたことに始まるとされており、武蔵国成立以前より栄えた知知夫国の総鎮守として現在に至っています。

元慶2年(878年)には神階正四位下に進み、延長5年(927年)に編纂された『延喜式』にも掲載されるなど、関東でも屈指の古社のひとつに数えられています。また、中世以降は関東武士団の源流、平良文を祖とする秩父平氏が奉じる妙見信仰と習合し、長く秩父妙見宮として隆盛を極めました。明治の神仏判然令により秩父神社の旧社名に復しました。その後、昭和3年には國幣小社の社格となり、現在は神社本庁の別表神社となっています。平成26年には御鎮座2100年を迎え、同年12月3日の例祭において天皇陛下より臨時御奉幣を賜り盛大に祭典が執り行われました。

現存するご社殿は、天正20年(1592年)に徳川家康公が寄進されたもので、江戸時代初期の建築様式をよく留めていることなどから、埼玉県有形文化財に指定されています。また、毎年12月3日に行われる例祭は、「秩父夜祭」として国の重要無形民俗文化財と重要有形民俗文化財に指定され、京都の祇園祭、飛騨高山祭と共に日本三大曳山祭のひとつに数えられています。平成28年には、全国33件の祭からなる「山・鉾・屋台行事」の1つとして、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界無形文化遺産に登録されました。

秩父神社は、埼玉県秩父市番場町1-3にある神社で、創建は、崇神天皇(すじんてんのう)の時代とされています。1569年(永禄12年)に武田信玄の手により焼失した後、1592(天正20年)に徳川家康により再建されたものだそうです。現在の建物は、1970年(昭和45年)に解体復元されたものです。

つなぎの龍は、本殿東側にある鎖でつながれた青い竜の彫刻で、左甚五郎作と言われています。「その昔、秩父札所十五番小林寺近くに「天ヶ池」という池がありました。その池に住みついた龍があばれた際には、必ずこの彫刻の下に水溜りができていたことから、この彫り物の龍が鎖でつなぎ止めたところ、その後、龍は現れなくなったという不思議な伝説が伝わっています。ご本殿東側の鎖でつながれた青い龍の彫刻こそ、この伝説に語られた「つなぎの龍」の姿なのです。

昔から日本人は、家や地域の四方を青龍、朱雀、百虎、玄武という神使が守っていると信じてきました。この彫刻も、当社の東北(表鬼門)を守護する青龍の姿を、名工左甚五郎が社殿彫刻に施したもののなのです。」



0001\_秩父神社



0002\_秩父神社



0003\_秩父神社



0004\_秩父神社



0005\_秩父神社



0006\_秩父神社



0007\_秩父神社



0008\_秩父神社



0009\_秩父神社



0010\_秩父神社



0011\_秩父神社



0012\_秩父神社



0013\_秩父神社



0014\_秩父神社



0015\_秩父神社



0016\_秩父神社



0017\_秩父神社



0018\_秩父神社



0019\_秩父神社



0020\_秩父神社



0021\_秩父神社



0022\_秩父神社



0023\_秩父神社



0024\_秩父神社



0025\_秩父神社



0026\_秩父神社



0027\_秩父神社



0028\_秩父神社



0029\_秩父神社



0030\_秩父神社



0031\_秩父神社



0032\_秩父神社



0033\_秩父神社



0034\_秩父神社



0035\_秩父神社



0036\_秩父神社



0037\_秩父神社



0038\_秩父神社



0039\_秩父神社



0040\_秩父神社



0041\_秩父神社



0042\_秩父神社



0043\_秩父神社



0044\_秩父神社



0045\_秩父神社



0046\_秩父神社



0047\_秩父神社



0048\_秩父神社



0049\_秩父神社



0050\_秩父神社



0051\_秩父神社



0052\_秩父神社



0053\_秩父神社



0054\_秩父神社



0055\_秩父神社



0056\_秩父神社



0057\_秩父神社



0058\_秩父神社



0059\_秩父神社



0060\_秩父神社



0061\_秩父神社



0062\_秩父神社



0063\_秩父神社



0064\_秩父神社



0065\_秩父神社



0066\_秩父神社



0067\_秩父神社



0068\_秩父神社



0069\_秩父神社



0070\_秩父神社



0071\_秩父神社



0072\_秩父神社



0073\_秩父神社



0074\_秩父神社



0075\_秩父神社



0076\_秩父神社



0077\_秩父神社



0078\_秩父神社



0079\_秩父神社



0080\_秩父神社



0081\_秩父神社



0082\_秩父神社



0083\_秩父神社



0084\_秩父神社



0085\_秩父神社



0086\_秩父神社



0087\_秩父神社



0088\_秩父神社



0089\_秩父神社



0090\_秩父神社



0091\_秩父神社



0092\_秩父神社



0093\_秩父神社



0094\_秩父神社



0095\_秩父神社



0096\_秩父神社



0097\_秩父神社



0098\_秩父神社



0099\_秩父神社



0100\_秩父神社



0101\_秩父神社



0102\_秩父神社



0103\_秩父神社



0104\_秩父神社



0105\_秩父神社



0106\_秩父神社



0107\_秩父神社



0108\_秩父神社



0109\_秩父神社



0110\_秩父神社



0111\_秩父神社



0112\_秩父神社



0113\_秩父神社



0114\_秩父神社



0115\_秩父神社



0116\_秩父神社



0117\_秩父神社



0118\_秩父神社



0119\_秩父神社



0120\_秩父神社



0121\_秩父神社



0122\_秩父神社



0123\_秩父神社



0124\_秩父神社



0125\_秩父神社



0126\_秩父神社



0127\_秩父神社



0128\_秩父神社



0129\_秩父神社



0130\_秩父神社



0131\_秩父神社



0132\_秩父神社



0133\_秩父神社



0134\_秩父神社



0135\_秩父神社



0136\_秩父神社



0137\_秩父神社



0138\_秩父神社



0139\_秩父神社



0140\_秩父神社



0141\_秩父神社



0142\_秩父神社



0143\_秩父神社



0144\_秩父神社



0145\_秩父神社



0146\_秩父神社



0147\_秩父神社



0148\_秩父神社



0149\_秩父神社



0150\_秩父神社



0151\_秩父神社



0152\_秩父神社



0153\_秩父神社



0154\_秩父神社



0155\_秩父神社



0156\_秩父神社



0157\_秩父神社



0158\_秩父神社



0159\_秩父神社



0160\_秩父神社



0161\_秩父神社



0162\_秩父神社



0163\_秩父神社



0164\_秩父神社



0165\_秩父神社



0166\_秩父神社



0167\_秩父神社



0168\_秩父神社



0169\_秩父神社



0170\_秩父神社



0171\_秩父神社



0172\_秩父神社



0173\_秩父神社



0174\_秩父神社



0175\_秩父神社



0176\_秩父神社



0177\_秩父神社



0178\_秩父神社



0179\_秩父神社



0180\_秩父神社



0181\_秩父神社



0182\_秩父神社



0183\_秩父神社



0184\_秩父神社



0185\_秩父神社



0186\_秩父神社



0187\_秩父神社



0188\_秩父神社



0189\_秩父神社



0190\_秩父神社